

2021年12月1日

世界エイズデー2021 キャンペーンテーマとそのメッセージ「3つのEndに向けて」

END INEQUALITIES. END AIDS. END PANDEMICS.

不平等にエンド（終止符）、エイズにエンド（終結）、パンデミックにエンド（もう起こさない）

今年の世界エイズデーに際し、国連共同エイズ計画（UNAIDS）は、エイズおよび他のパンデミックの原因となっている不平等にいますぐ終止符を打つ必要があることを強調しています。

不平等に立ち向かう果敢な行動がなければ、HIVの流行は再び拡大し、COVID-19のパンデミックは長期化して、社会、経済的危機がますます深刻化していきます。

最初のエイズ症例が報告されてから40年が過ぎたいまなお、HIVは世界を脅かし続けています。世界は現在、公衆衛生上の脅威としてのエイズ流行を2030年までに終結させるという約束の実現から遠く軌道を離れ、流行は再燃の恐れすらあります。エイズを克服するための知識やツールがないからではありません。HIV予防にも治療にも、実証済みの解決策がすでにあるのに、構造的な不平等がその実施を妨げているからなのです。

2030年のエイズ終結を果たそうとするなら、経済的、社会的、文化的、法的な不平等にいますぐ終止符を打たなければなりません。

危機の真最中に、その根底にある社会的不公正の解決を優先させるのは得策ではないという考え方もあります。しかし、そうしなければ危機を克服できないことは、すでに明らかなのです。

世界は長年にわたって不平等の解消を約束し続けてきましたが、その緊急性は高まってくばかりです。2015年にはすべての国連加盟国が、持続可能な開発目標（SDGs）の中で国内および国際間の不平等削減を約束しています。世界エイズ戦略 2021-2026『不平等に終止符を、そしてエイズ終結を』、および2021年の国連総会エイズハイレベル会合で採択されたエイズに関する政治宣言も、不平等を終わらせることが中心課題となっています。

エイズ終結の中心課題であると同時に、不平等の解消をはかることは、キーポピュレーションやHIV陽性者の人権をまもり、社会がCOVID-19やその他のパンデミックに打ち勝つ準備を整え、経済の回復と安定を支えることとなります。不平等の解消という約束を果たせば、何百万もの人の命を救い、社会全体に利益をもたらすことができるのです。

しかし、不平等を解消するには、変革が必要です。政治・経済・社会政策は、すべての人の権利をまもり、不利益を受けている人たちや社会から排除されがちなコミュニティのニーズに注意を払う必要があります。

エイズを克服する方法は実はもう分かっています。不平等がどのように進歩を妨げ、それにどう対処したらいいのかも分かっています。しかし、不平等を解消するための政策を実施するには、指導者が大胆でなければなりません。

各国政府はいまこそ、約束を行動に移さなければなりません。包摂的な社会・経済成長を促す必要があります。機会均等を保障し、不平等を解消するために、差別的な法律や政策、慣行を撤廃しなければなりません。約束を守るのはいまです。政府はいま行動しなければならず、私たちは説明責任を求める必要があります。

私たちが誰であり、どこから来たかに関わりなく、グローバルな不平等は私たち全員に影響を与えています。今年の世界エイズデーはそのことを政府に思い出させましょう。不平等に終止符を打つことで、エイズをはじめ、不平等を糧に広がるすべてのパンデミックを終結に導く行動を求めましょう。

キーメッセージ

トップラインのメッセージ

- 1 世界はパンデミックのリストが拡大する脅威にさらされています。COVID-19 パンデミックは3年目に入り、エイズパンデミックは40年を超えています。
 - エイズ終結にも、次のパンデミックの備えにも、世界は迅速に行動することができずにきました。
 - エイズ終結に必要な行動をとることが、将来のパンデミックを防ぐことにもなりません。
- 2 COVID-19は想定を超えて拡大してきました。世界がCOVID-19に立ち向かい、さらに未知のパンデミックに備える中で、エイズ終結を妨げてきた数多くの過ちを繰り返すおそれがあります。
- 3 エイズ終結に必要な軌道修正は、将来のパンデミックから世界をまもることにもなります。グローバルヘルス分野の資金確保にはパラダイムシフトが必要です。コミュニティ主導で、人権に基づき、ジェンダーの平等を進めていく対応への投資、およびエッセンシャルワーカーへの投資が必要です。また、命を救う医薬品や医療技術への公平なアクセスを確保し、不平等を把握できるようにするデータシステムとその不平等に対処する権利ベースのアプローチに対して投資する必要があります。
 - エイズ対策やパンデミック対策を緊急に**再構築しなければ**、致命的なパンデミックのリストは増え続け、死ななくてもいい人たちの命を奪い、社会経済的な発展を妨げ、コミュニティや社会は崩壊することになります。
 - **再構築できれば**、人びとの健康がまもられ、開発は進み、財政負担も小さくなるのです。

拡大メッセージ

パンデミックは一つではありません。エイズもパンデミックなのです。

- COVID-19 に注意が向けられる中で、エイズパンデミックの終結に向けた成果が失われる恐れがあります。エイズはパンデミックです。消えたわけではありません。
- **COVID-19 が流行しているからといって、エイズは休んでいるわけではありません。**世界の関心が COVID-19 に向いている間も、エイズ対策は奮闘を続けてきました。コミュニティが中心になり機敏な対応が可能なコミュニティ主導のエイズ対策は、COVID-19 がもたらした混乱にも高い復元力を示してきました。しかし、混乱は大きく、対策の成果も十分とは言えません。
 - HIV の感染は続いています。特にキーポピュレーションや思春期の少女・若い女性の新規感染は依然として続いています。
 - エイズ関連の死亡も相次いでいます。
 - HIV 陽性者、HIV に影響を受けている人たちは、いまなお差別と人権侵害を受けています。
- **もちろん、エイズ対策は目覚ましい成果を上げてきました。それでも HIV パンデミックの終結にはほど遠い状態です。**
 - エイズ終結の目標は、COVID-19 パンデミックの影響を受け、同時に保健システムが限界を超え、弱体化していることで、軌道を外れていくリスクがあります。
 - 国連総会は、2025 年に向けた野心的な世界エイズターゲットに合意しました。ターゲットの達成には、政府が不平等に終止符を打ち、コミュニティ主導の対策に投資し、人権を尊重する必要があります。
 - 新たな世界エイズ戦略は、2030 年のエイズ終結に向けてエビデンスに基づくロードマップを示しています。エイズ終結だけでなく、COVID-19 対策にも役立つ戦略です。異なる 2 つのパンデミックではあっても、終結に導く道筋は同じなのです。

COVID-19 は想定を超えて拡大してきました。世界が COVID-19 に立ち向かい、さらに未知のパンデミックに備える中で、エイズ終結を妨げてきた数多くの過ちを繰り返すおそれがあります。

- **世界が COVID-19 に備えていなかったことが、多数の人を苦しめ、財政的にも重い負担を抱える結果を招いています。**
 - 将来のパンデミックに対し備えることは、多くの人の命を救い、資金の節約にもなります。
 - 同じ過ちを繰り返すわけにはいきません。
- **パンデミックは不平等という断層線に沿って広がります。**
 - エイズと COVID-19 という 2 つのパンデミックの終結と将来のパンデミックの防止には、不平等の解消に取り組まなければなりません。

- 国際的および各国の国内におけるパンデミック対策には、**成功に必要な重要な要素が欠けています。それは、人とコミュニティを中心に考えること、そして人権、公平性、資金調達です。**
- **次のパンデミックに備えることができないとしたら、その責任は政府にあります。**
 - 政治の強いリーダーシップと行動、説明責任がなければ、エイズと COVID-19 の流行を終結に導き、将来のパンデミックを防ぐことはできません。
 - 各国政府は保健と開発への投資を優先させなければならないのです。

人権に基づき、ジェンダーの平等を進めていくアプローチがエイズ終結には必要であり、同時にそれは将来のパンデミックを防ぐためにも必要なアプローチなのです。

- あらゆるパンデミック対策に共通する基本的な枠組みへの投資を確保すること、そして保健に関する不平等の解消に取り組むことによって、私たちは数々のパンデミックを終結させる前例のない機会を得ようとしています。
 - エイズ対策やパンデミック対策を緊急に**再構築しなければ**、致命的なパンデミックのリストは増え続け、死ななくてもいい人たちの命を奪い、社会経済的な発展を妨げ、コミュニティや社会は崩壊することになります。
 - **再構築できれば**、人びとの健康がまもられ、開発は進み、財政負担も小さくなるのです。

エイズ終結に必要な軌道修正は、将来のパンデミックから世界をまもることにもなります。グローバルヘルス分野の資金確保にはパラダイムシフトが必要です。コミュニティ主導で、人権に基づき、ジェンダーの平等を進めていく対応への投資、およびエッセンシャルワーカーへの投資が必要です。また、命を救う医薬品や医療技術への公平なアクセスを確保し、不平等を把握できるようにするデータシステムとその不平等に対処する権利ベースのアプローチに対して投資する必要があります。

- エイズも COVID-19 も、そして将来予想されるパンデミックも、人権を重視し、人びとを中心に据えた行動を緊急にとることによって防ぐことができます。ところがパンデミックへの備えや対策の議論の中では、そうした要素がほとんど欠落しているのです。
- パンデミックに備え、対応するために**中心となるのは、人びと、とりわけ特定のコミュニティや人たちです。ウイルスではありません。**
 - 誰もが安全にならなければ、誰も安全ではありません。
 - パンデミック対策は、どんな時でも、最も弱い立場にあり、最も影響を受けている人たちに焦点を当てなければなりません。HIV の影響を最も大きく受けている人たちもその中に含まれます。
 - 何が弱い立場をもたらしているのかを把握し、現在進行中のパンデミックおよび将来予想されるパンデミックで最も影響を受ける人たちをまもれるようにする必要があります。
 - HIV 対策の成果は、誰が最も弱い立場にあるのかを確認し、その人たちが自らの健康に関する意思決定に加わることで得られたのです。

- **パンデミックに備えるには、公衆衛生におけるコミュニティ主導のインフラが重要です。**
- HIV の影響を最も受けているコミュニティが公衆衛生システムに関与し、力を得ている場所では：
 - COVID-19 が流行している間も、コミュニティが HIV 治療サービスの継続を助けています。
 - 十分な情報が提供されることで、コミュニティは HIV および COVID-19 に関する誤情報に対抗できます。
 - コミュニティは社会から排除されやすい人たちやキーポピュレーションの人たちをまもり、最前線で基本的なサービスを提供しています。
- コミュニティヘルスワーカーから医師、教師、ソーシャルワーカー、無給の介護者まで、**すべてのエッセンシャルワーカーをまもり、そのための投資を行う必要があります。**
- **手頃な価格の医薬品、ワクチン、診断薬へのアクセス確保は、重要なパンデミック対策です。**すべての社会経済的状況において、社会から排除されがちな人たち、弱い立場に置かれている人たちをまもり、パンデミックに対応できるようにするには、医薬品、ワクチン、診断薬およびその他の医療技術を公共財と見なす必要があります。
- **統合され、人を中心としたデータシステムへの投資。**
 - きめ細かく分類され、分析可能なデータがなければ、不平等は隠されたままになります。弱い立場に置かれ、最もリスクの高い人たちをプログラムが無視してしまう恐れがあるのです。
 - 優れたデータがあれば、脆弱性を特定し、地理的および人口動態的な不平等の存在を明らかにすることで、命を救うために必要なサービスを必要とする人が利用できるようになります。
 - パンデミック対策の策定には、科学を尊重し、信頼しなければなりません。
- パンデミック対策は、**人権をまもり、ジェンダーの平等を保つことを中心に据えて不平等の格差を埋めなければなりません。**
- **保健への投資=不平等の解消=それが成長の促進とすべての人の安全につながるのです。**

ソーシャルメディア

ソーシャルメディアによるキャンペーン資材は以下で。

<https://trello.com/b/bpqRbYi8/world-aids-day-2021>

